

令和7年度 教育計画（シラバス）

講座コード	学科名	学年	教科	科目	単位数	履修期間	必修修
N6101A R6101A J6101A	普通科 理数科学科 人文社会科学科	1	保健体育	体育	2	通年	○
教科書			補助教材				
新高等保健体育（大修館）			Active Sports 2025(大修館)				
到達 目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。		
学習の 評価	【知識・技能】 スキルテストで技能の獲得状況を把握し、その結果から評価する。 【思考・判断・表現】 グループノート等に記述された内容や、生徒の発言等の観察評価から得られた評価の材料を加味して評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記をふまえて授業でのとりくみなどから総合的に評価する。						
学習内容（単元・項目）			学習到達目標（評価規準）				
体づくり運動			(1)自己の体に関心をもち、体ほぐしをしたり、体力を高めたりする。 (2)互いに協力して運動を行う。				
陸上競技			(1) 記録の向上や競走の楽しさを味わい、種目特有の技能を高める。 (2) 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にする。 (3)役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする。				
球技			(1)チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高める。 (2)チームにおける自己の役割を自覚して、互いに協力する。				
器械運動			(1) 自己に適した技を高めて、演技することができるようにする。 (2) 役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすことができる。 (3)技の名称や行い方、体力の高め方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できる。				
ダンス			(1) 各種のダンスについて、特有の表現や踊りを高める。 (2) 役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすことができる。				
武道			(1) 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。 (2) 主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする。				
体育理論			(1) 運動やスポーツの効果的学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。				

令和7年度 教育計画（シラバス）

講座コード	学科名	学年	教科	科目	単位数	履修期間	必修修
N6102A R6102A J6102A	普通科 理数科学科 人文社会科学科	1	保健体育	保健	1	通年	○
教科書			補助教材				
新高等保健体育（大修館）			図説 新高等保健（大修館）				
到達 目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。		
学習の 評価	【知識・技能】定期考査で、生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解しているか評価する。 【思考・判断・表現】グループワークでの観察評価や小テストなど、多様な評価方法を組み合わせて評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】上記をふまえて授業でのとりくみなどから総合的に評価する。						
学習内容（単元・項目）			学習到達目標（評価規準）				
・日本における健康課題の変遷 ・健康の考え方と成り立ち ・ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり ・健康に関する意思決定・行動選択 ・現代における感染症の問題 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防 ・生活習慣病の予防と回復 ・身体活動・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康 ・がんの予防と回復 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患への対応 ・事故の現状と発生要因 ・交通事故防止の取り組み ・安全な社会の形成 ・応急手当の意義と救急医療体制 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当			(1) 疾病構造や社会の変化に対応し健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいて、一人一人が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。 (2) 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 (3) 現代社会と健康について、自他の健康の保持増進や回復、それを支える社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 (1) 事故等の発生には人的要因及び環境要因に関わることを踏まえ、事故等の防止に加え、発生に伴う傷害などを軽減し、安全な社会を形成するには個人の取り組みに加えて社会的な取り組みが求められることを理解できるようにする。 (2) 安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。 (3) 安全な社会生活について、自他の健康の保持増進や回復、それを支える社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。				

令和7年度 教育計画（シラバス）

講座コード	学科名	学年	教科	科目	単位数	履修期間	必修修
N6201A R6201A J6201A	普通科 理数科学科 人文社会科学科	2	保健体育	体育	2	通年	○
教科書			補助教材				
新高等保健体育（大修館）			Active Sports 2024(大修館)				
到達 目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。		
学習の 評価	【知識・技能】スキルテストで技能の獲得状況を把握し、その結果から評価する。 【思考・判断・表現】グループノート等に記述された内容や、生徒の発言等の観察評価から得られた評価の材料を加味して評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】上記をふまえて授業でのとりくみなどから総合的に評価する。						
学習内容（単元・項目）			学習到達目標（評価規準）				
体づくり運動			(1)自己の体に関心をもち、体ほぐしをしたり、体力を高めたりする。 (2)互いに協力して運動を行う。				
陸上競技			(1) 記録の向上や競走の楽しさを味わい、種目特有の技能を高める。 (2) 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にする。 (3)役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする。				
球技			(1)チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高める。 (2)チームにおける自己の役割を自覚して、互いに協力する。				
器械運動			(1) 自己に適した技を高めて、演技することができるようにする。 (2) 役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすことができる。 (3)技の名称や行い方、体力の高め方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できる。				
ダンス			(1) 各種のダンスについて、特有の表現や踊りを高める。 (2) 役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすことができる				
武道			(1) 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。 (2) 主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする。				
体育理論			(1) 運動やスポーツの効果的学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。				

令和7年度 教育計画（シラバス）

講座コード	学科名	学年	教科	科目	単位数	履修期間	必修
N6202A R6202A J6202A	普通科 理数科学科 人文社会科学科	2	保健体育	保健	1	通年	○
教科書			補助教材				
新高等保健体育（大修館）			図説 新高等保健（大修館）				
到達 目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。		
学習の 評価	【知識・技能】定期考査で、生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解しているか評価する。 【思考・判断・表現】グループワークでの観察評価や小テストなど、多様な評価方法を組み合わせて評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】上記をふまえて授業でのとりくみなどから総合的に評価する。						
学習内容（単元・項目）			学習到達目標（評価規準）				
・ 思春期と健康 ・ 性意識の変化と性行動の選択 ・ 結婚生活と健康 ・ 妊娠・出産と健康 ・ 家族計画 ・ 加齢と健康 ・ 高齢社会に対応した取り組み ・ 働くことと健康 ・ 労働災害の防止 ・ 働く人の健康づくり ・ 大気汚染と健康 ・ 水質汚濁・土壌汚染と健康 ・ 健康被害を防ぐための環境対策 ・ 環境衛生に関わる活動 ・ 食品の安全性と健康 ・ 食品の安全性を確保する取り組み ・ 保健制度とその活動 ・ 医療制度とその活用 ・ 医薬品の制度とその活用 ・ 様々な保健活動や対策 ・ 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり			(1) 生涯を通じる健康の保持増進には、生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解できるようにする。 (2) 生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 (3) 生涯を通じる健康について、自他の健康の保持増進や回復、それを支える社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 (1) 健康の保持増進には、個人の力だけではなく、個人を取り巻く自然環境や社会の制度、活動などが深く関わっていることを理解できるようにする。 (2) 健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、環境整備など、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 (3) 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の健康の保持増進や回復、それを支える社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。				

令和7年度 教育計画（シラバス）

講座コード	学科名	学年	教科	科目	単位数	履修期間	必修
N6301A R6301A J6301A	普通科 理数科学科 人文社会科学科	3	保健体育	体育	3	通年	○
教科書			補助教材				
新高等保健体育（大修館）			Active Sports 2023(大修館)				
到達 目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。		
学習の 評価	【知識・技能】スキルテストで技能の獲得状況を把握し、その結果から評価する。 【思考・判断・表現】授業計画シートに記述された内容や、生徒の発言等の観察評価から得られた評価の材料を加味して評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】上記をふまえて授業でのとりくみなどから総合的に評価する。						
学習内容（単元・項目）			学習到達目標（評価規準）				
体づくり運動			(1)自己の体に関心をもち、体ほぐしをしたり、体力を高めたりする。 (2)互いに協力して運動を行う。				
陸上競技			(1) 記録の向上や競走の楽しさを味わい、種目特有の技能を高める。 (2) 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にする。 (3)役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする。				
球技			(1)チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高める。 (2)チームにおける自己の役割を自覚して、互いに協力する。				
器械運動			(1) 自己に適した技を高めて、演技することができるようにする。 (2) 役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすことができる。 (3)技の名称や行い方、体力の高め方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できる。				
ダンス			(1) 各種のダンスについて、特有の表現や踊りを高める。 (2) 役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすことができる。				
武道			(1) 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。 (2) 主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする。				
体育理論			(1)運動やスポーツの効果的学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。				